



広報

№.245

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成4年5月末現在)

世帯数	8,140戸
人口	26,658人
男	13,624人
女	13,034人
5月の人口移動	
出生	37件
死亡	5件
転入	93件
転出	101件
婚姻	17件
離婚	4件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

子ども会が和やかに交流

県営西原団地のひまわり子ども会15人(比嘉良富育成会長)が、具志川市志林川区のなかよし子ども会20人と6月14日志林川区公民館で交流しました。

両子ども会は、太鼓を通して健全育成を図っていることが共通点。お互いに子ども太鼓(ひまわり祭太鼓・満月太鼓ばやし)を披露した後、ドッジボールなどをして楽しく過ごしました。

歓迎式では、なかよし子ども会から手作りペンダントが送られ、ひまわり子ども会からも紙粘土で作った名札が一人ひとりに手渡されました。中には、ちょっぴりてれた顔も。＝写真

単位子ども会が他市単位子ども会と地域間交流を深めたことは、大いに注目されます。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

特集①

学校週五日制の導入

どう過ごす！

月一回の土曜休み

個性や創造性を伸ばす教育が狙い

平成四年九月実施

今年二学期から「学校週五日制」が実施され、月一回、第二土曜日が休みになります。明治以来、一世紀以上にわたって続いていた週六日制にピリオドを打つことになりました。

この制度は、学校や家庭、地域での教育のあり方を見直しながら、これからの時代を担う子どもたちの望ましい人間性を育てようという目的があります。

それでは、文部省が狙いとすることと我西原町の子どもたちの実態を比べながら一緒に考えてみましょう。

●文部省の狙いとは？

学校は月曜日から土曜日まで通うものⅡいま、この当然のような制度が変わろうとしています。

月一回の学校週五日制が実施される学校は、全国の国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲・ろう養護学校です。また、私立の学校にもできるだけ歩調を合わせるよう協力が求められています。

では、なぜ土曜日を休みにするのでしょうか。

社会全体が多様化し、大きく変化するなかで、自ら考え判断し、行動できる資質や能力を育てることを重視する教育が求められています。

今回実施される「学校週五日制」には、子どもたちが家庭や地域社会での生活時間を使って、違う年齢の仲間との遊び、自然体験、生活体験などを増やすことで、このような資質や能力を根づかせるという意味がこめられています。

すなわち、共通した知識や技能を身につけることを重視したこれまでの教育から、個性や創造性を育てることを重視する教育を目指すという狙いがあります。



子どもたちにとって土曜日が待ちどろしいと言えるように...

平成四年三月七日に行われた第八回町PTA研究大会の中から声を拾ってみました。

(西中父母)

は 実施にあたって父母の心配

学校へⅡ学力低下をしない指導と同時に学習に負担がかからないようにして欲しい。

地域へⅡ受け皿をきちんとしていく。

社会へⅡ導入と同時に、社会も早めに週休二日制にしていくべき。

家庭へⅡいかに家庭で子どもと共に学習するか考えるべき。その時、家庭の教育力が求められる。

アンケートから

西原東小PTAがアンケート

トを実施 (会員数五四四人、うち三八九人回収、回収率71.5%)

1.平成四年九月から本県(公立)全学校が月一回休みの学校週五日制が実施されるのはご存知ですか。

a、はい 240人
b、いいえ 132人

c、別に関心はない人 3人
2.学校週五日制に賛成ですか反対ですか。

a、賛成 122人
b、反対 199人

c、わからない 54人
3.母親の勤務状況について

a、定職 144人
b、パート 115人

c、専業主婦 116人
一、aとお答えの方に

土曜日は休みですか。
a、はい 19人

b、いいえ 108人
二、bとお答えの方に

有給休暇もありますか。
a、はい 26人

b、いいえ 64人
三、cとお答えの方に

子どもの帰る時間には誰か家にいますか。
a、はい 112人

b、いいえ 4人

町教育委員会の九月導入に向けての今後の対策スケジュール、考え方については、次号へ掲載します。

●実施に向けての「影響と対策」

文部省では、この制度の実施に向けて、二年前から全国六十八校をモデル校にして、「研究」をしてきました。

その結果から、制度の実施による家庭、学校、地域への「影響と対策」は次のとおりです。

家庭では

子どもが親と一緒に過ごすなかで、生き方や生活の知恵を学ぶようにすることが大切です。

しかし、共働きの家庭の子どもや障害のある子どもへの配慮も忘れてはなりません。

例えば、子どもは学校が休みだけでも、親が働いているため午前中は子ども一人になってしまいます。

そのため、幼稚園や小学校、盲・ろう養護学校では、当面の間、休みとなる土曜日にも、学校を開放するよう呼びかけ、家庭での負担を少なくするようにしています。

学校では

いまだ六日間で学習していたことを五日間で学ぶことは、かえって子どもに負担がかかるのではないかとという問題があります。

これに対して学校では、授業のカリキュラム編成や指導方法を工夫するようになっています。

地域では

休みになっても、何をすればよいか分からない、あるいは、活動の場所がない。これでは意味がありません。

そのため、学校にある施設の開放や公共施設の整備・充実を進めること、そして、大人のサポートが必要となってきます。

例えば、周りの大人がいろいろなプログラムを考え、そのなかから、子どもの自主性にまかせ、責任をもって取り組ませるといふようなことです。

●社会全体で子どもたちを見守ろう

今後、学校週五日制の定着を図っていくうえで、学校、家庭、地域社会がいままで以上に連携を深め、一体となって問題の解決に取り組む必要があります。

休日が増えることによって、子どもたちの生活が活気あるものになるように、社会全体で見守り、対策を考えていきたいと思います。

総理府広報室監修「広報通信」から

(子ども会役員)

「子ども会活動の必要性が出ている。そこで、子どもたちの環境整備が必要である。」

例えば、地域でも自治公民館や遊び場、児童館の整備等と同時に、安全面の指導を徹底していかなければならないと考える」

(助言者・仲里清義さん)

「沖縄市教育委員会
派遣社会教育主事」

「生涯学習しやすい町づくりのため人材バンクの検討も必要」

「週五日制が取り入れられると子どもたちは地域に返されるので、子どもたちの育成のためには各団体の取り組みが大変であろうがご苦労していかなければならない」

「沖縄市の場合、中高校生に妹や弟たちの為に何か出来ることはないかと問いかけたところ、積極的に活動に参加してくれた。『おたすけマン』と称する活動であるが、平素部活動で夢中になっている中高校生たちが土曜日に学校に来て、紙芝居や工作などを教えていくことで低学年の子どもから感謝されている」

「地域へ参加したがいらない子へは、軽い気持ちで参加できる場を作る手立てが必要である。」

「沖縄市の越來幼・小・中学校は、学校週五日制の平成三年度県指定研究校



予定候補地は西原の塔敷地内としている

平和祈願碑を建設

建立碑に全戦没者名を刻む

町遺族会が計画

町遺族会(会長正昌翁)は本土復帰二十周年を機会に町戦没者刻名平和祈願碑(仮称)の建設を計画しています。終戦から四十七年を経過した現在、遺族関係者も年々高齢化していく中、戦争の悲惨さを後世に残そうと、建設推進実行委員会(新垣正広委員長)がこのほど設置されました。

建設推進実行委員会では、予定候補地を西原の塔(字翁

長)敷地内として町出身戦没者氏名を平和祈願碑に刻むことを計画。現在、各字単位で戦没者名簿の確認作業を進めています。また、同実行委員会十三人が祈念碑のデザイン等を調査・研究するため、五月二十四日摩文仁霊域や具志

川市を視察。今後は、毎月定例会を開き、設計等を煮詰め本年度中に完成させる予定。なお、実行委員名は次の通り。
▽委員長・新垣正広▽副委員長・玉城弘昌、我謝孟功▽事務局長・玉那覇三郎▽専従職員・新垣秀子(敬称略)

赤十字奉仕団を結成

県内市町村で十七番目

「すべての人々のしあわせを願い、陰の力となって人々に奉仕しよう」と町赤十字奉仕団結成大会が五月二十五日午後、西原共同福祉施設で開かれました。

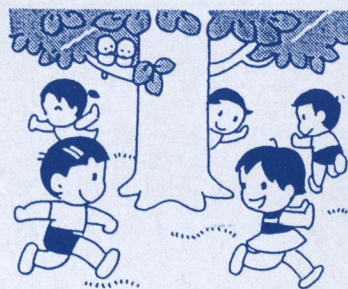
規程や平成四年度事業計画、予算が審議承認された後、新役員五人に対し成底哲日本赤十字社沖縄事務局長から委嘱状が手渡されました。初代委員長になった儀間信子さんは「バッチや肩章をもらい身のひきしまる思いである。赤十字活動は幅広いので、今後勉強しながら頑張りたい」と話しました。

団員五十人の中から役員に選ばれた方は次の通り(敬称略)

▽委員長・儀間信子(字翁長一一六―二)▽副委員長・金城光子(字小波津二三三―二)大城富士子(字内間四四三)、金城ヨシ子(字翁長四九〇)▽事務局・宮平苗子(町役場福祉課)



あいさつをする初代委員長となった儀間信子さん

自然に親しむ運動
(7月1日～8月20日)



平成4年度通常総会のもよう

新たな農協運動の展開図る

JA西原が通常総会

十二日午後、町中央公民館で開きました。

組合員約五〇〇人が出席する中、新年度は「農協・二十一世紀の挑戦と改革」の実践初年度として①地域農業振興対策②農協生活活動強化対策③農協経営強化対策のそれぞれを実践推進することなどを全員が承認議決しました。

その後、前監事二人に対し感謝状が送られました。

なお、感謝状を受けた人は次の通り。

▽城間源市 (字与那城八十八番地)

▽外間忠弘 (字小那覇百四十七番地)

(敬称略)

我が子の悩みごと相談して！

町教育相談事業がスタート

町では児童・生徒の心身の健全発達を促すために、家庭と学校の橋渡しの役割であり、側面的に手助けをする青少年教育相談事業の検討を進めていたが、

このほど同事業の実施が決まり教育相談員三名に委嘱状が交付されました。

教育相談員は、生活(家庭・学校・社会)適応上の問題や心理的な障害などをもつ子どもに教育相談活動を中心的にを行い、生活に適応し、自己指導が展開できる方向を目指して実践活動を行うことを目的としたもの。

町役場敷地内(水道庁舎一階)に六月八日からスタートしました。

なお、詳しいことは次の通り。

- 一、相談内容
 - ①登校拒否 ②かん黙 ③非行傾向 ④しつけや育て方
 - ⑤集団不適応 ⑥家庭内暴力 ⑦進路 ⑧いじめ ⑨校内暴力 ⑩教育問題全般

二、相談日時

相談日 月・水・金



城間期一 さん
(字翁長474番地)



野島英秀 さん
(字小橋川250番地の7)



屋良恵子 さん
(字小橋川180番地の6)

子どものことについて、悩みのある方は、お気軽にご相談ください。

ホスピス



ラテン語のホスピチウム(もてなしの場所)からきている言葉。がんなどの末期患者を治療するだけでなく、精神的な支えを行う施設です。ホスピスの歴史は、中世にエルサレム巡礼の旅人が病氣などになったときに、ヨーロッパの修道院が、一夜の宿を提供したりしたのがきっかけです。

近代のホスピスは、ロンドンの郊外に設置されたのが第一号。英国では現在、約三百のホスピスが存在します。日本に初めてホスピスが紹介されたのは一九七七年で、施設としての第一号は一九八一年につくられました。現在約二十のホスピスがありますが、厚生省が、がん末期患者を対象とした「緩和ケア病棟」として認可したホスピスは、救世軍清瀬病院(東京都清瀬市)、聖隷三方原病院(静岡県浜松市)など六か所あります。

末期患者のケアは、医師や看護婦だけでなく、ソーシャルワーカー、宗教家、ボランティアなどが協力して進めていくのが望ましく、これが理想的なホスピスといえるでしょう。

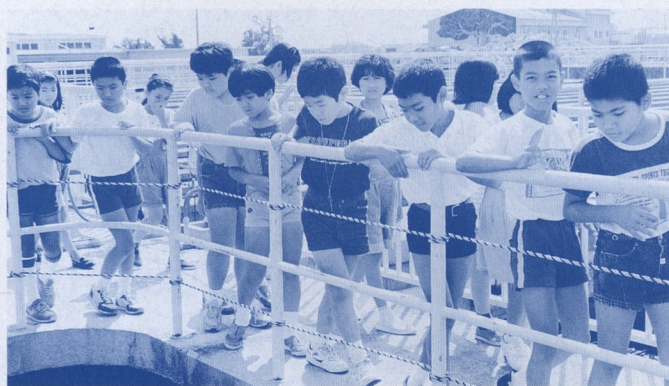


子ども会を全行政区へ

町子ども会育成連絡協議会(上亀直一会長)は、5月27日午後、町社会福祉センターで定期総会を開きました。

上亀会長はあいさつの中で「学校週5日制に向けて子ども会の果たす役割は大きい。全行政区に子ども会ができればと思う。今後は新しい感覚で子どもたちの健全育成を図っていきたい」と話しました。

今年度はこれまであった子ども会の掘り起しに力を入れる予定。



水って 大切にしくちゃね!

水道週間(6月1日～6月7日)にちなみ町水道課では、町立小学校4年生491人を対象に6月2・3日午前、西原浄水場見学を実施しました。

4校(坂小129人、東小131人、西小153人、南小78人)が2日間に分かれて見学。県内には国や県が管理するダムがあり、北部の水を中南部の人が使っていることや、運ばれた水は沈澱池、ろ過池、浄水池を通過してきれいになることがわかりました。



資金を活用して下さい

町人材育成会は、平成4年度総会を5月30日午前、役場2階会議室で開きました。

新役員へ委嘱状を交付した後、あいさつの中で平安会長は「貸付事業や派遣事業、交流事業など順調に運営されている。しかし、会の趣旨が町民に対しあまり知らされていないので、今後はピーアールを図りたい」と述べました。

なお、平成3年度中に850万円余の寄付がありました。



交通安全シンポを予定

町交通安全推進協議会(平安恒政会長)は、平成4年度総会を5月27日午後、役場2階会議室で開きました。

あいさつの中で平安会長は「交通安全教育を徹底すれば交通事故は減らすことができる。あらゆる機関と連携して事故のない安全で住みよい町を目指したい」と述べました。

今年度は交通安全シンポジウムの開催などが予定されています。



第3日曜日は家庭の日

～すこやかに伸びよう伸ばそう守礼の子～と町青少年健全育成協議会は、平成4年度総会を5月27日午後、役場2階会議室で開きました。

今年度の事業は①春・夏・年末年始の青少年育成県民運動期間中における啓蒙活動②少年を守る日(毎日第3土曜日)の夜間巡回指導の実施③家庭の日(毎月第3日曜日)を親と子の心を結ぶ日として啓蒙することなどとなっています。



金秀グループが130万円寄付

「西原町の人材育成のために基金の一部として役立て下さい」と金秀グループ(呉屋秀信会長)は5月25日午前、平安町長を訪問し100万円を手渡しました。

町内に工場や事務所がある金秀グループは、今年で6回目の寄付。あいさつの中で平安町長は「対外的なスポーツや文化面の派遣等、町人材育成会の基金として有効に活用したい」とお礼のことばを述べました。また、同日町社協に対しても30万円を寄付しました。



「お母さん 今だ スパイク」

第14回各区対抗OB・家庭婦人バーボール大会(主催町体協)が5月24日町民体育館・南小体育館で行われ、男子12チーム・女子10チームの熱き闘いが展開されました。

バレーボールが盛んな本町を反映し、家族の応援も多く会場は朝からにぎわいました。

なお、試合結果は次の通り。

▷(男子)優勝・翁長チーム、準優勝・幸地チーム

▷(女子)優勝・翁長チーム、準優勝・内間団地チーム

西原おこしに参画します

町商工会(呉屋定子会長)は第17回通常総会を5月26日午後、西原共同福祉施設で開きました。

総会では、会員約100人が出席。平成3年度事業報告及び収支決算書をはじめとする第1号議案から第4号議案までと、報告1件が全会一致により承認されました。

今年度の重点事項は①地域商工業者の西原おこしへの参画②商工会の組織の強化及び財政強化③商工会館建設の検討などがあります。



収益金を翁長収入役へ手渡す城間富子さん

「缶を拾いながら走るおばさん」

ビンとう缶や していらんきよー

字棚原785番地、城間富子さん(56才)が空きビンや空き缶を回収した収益金(三万三千二百七円)を町内の子ども達のために役立てて下さいと五月十九日午後、町人材育成会へ寄付しました。

城間さんは夕方毎日ジョギングをしながら道路に捨てられた空きビンや空き缶を拾い続けて3年。売上金をためたビンが一杯になったので寄付を考えたとのこと。健康管理と環境美化の一石二鳥とあつ

て最近では、ジョギングコース周辺の人が「缶を拾いながら走るおばさん」として人氣を集めているようです。

シリーズ

がんばってます⑭

ハードな練習は危険

「小学生の時に練習をハードにしすぎると、一部の筋肉を極度に使い過ぎて肩や肘を痛めてしまう。からだ全体が成長過程にある小学生の段階では、伸び伸びと練習させ、あまり型にこだわらず、むしろ柔軟性のある指導をすべきである」と話す字翁長457番地宮里芳男さん(会社員46才)。



リラックスした雰囲気の説明を聞く西原バッファローズのメンバー(円内が宮里芳男さん)

から日没まで)に指導し、現在の部員は二十四人。子どもたちは町内優勝はもちろん、中城支部大会や県大会へも出場するなど、数多くの試合を経験しています。練習中は特に①規律正しく②先輩・後輩を大切に③あいさつをきちんとするなどを約束づけているとのこと。

町スポーツ少年団本部長を五年前から務める宮里さんは

「自分が住んでいる坂田ハイッは寄合いの新興住宅で、共働き家庭が多い。そのため放課後や土曜日の午後などは、子どもたちが店の前でたむろしていたのを見かけ、何とかしようと思い始めた」と話していました。優しさの中にもキラツと輝くものがありました。宮里さん、これからも子どもたちの健全育成のために頑張ってください。



ボランティアによる食事サービスのみなさん（6月12日）

好評の手作り弁当

町社協食事サービス

ちよつと

拝

見

コーナー

毎月第二・第四金曜日町中央公民館の調理室では、ボランティアによる食事サービスが行われています。

町社協が主体に、お年寄りに手作りの弁当を届けて約一年。ボランティアグループ六グループ（一グループが約十人）が交代で当番制を実施。

各グループには、町民生委員・児童委員も積極的に参加しています。

材料の買い出しから調理、弁当に詰めるまでは女性が担当し、配達は男性が担当。現在は約三十人のお年寄り宅に届けられています。多い年は六十五人分を配達したことも。

食べやすいように工夫された手作り弁当は、「いっぺーまちゃんていーやんどー」と好評。グループみんなで知恵を出し合い、メニューを決める。冷凍食品を使わず、うす味で食べやすいものを基本に考えられています。

食事サービスが定着したことを喜ぶ民生委員・児童委員の宮平春子さんは「昭和五十三年に神奈川県の食事サービスを視察し、ぜひ本町でも実

施したいと思い、最初、仲松民子さんと二人で始めたのがきっかけです」と話していました。

食事サービスに参加したい方は、町社協へボランティア登録をして下さい。

なお第一・第三金曜日は、老人ホーム守礼の里へ委託し食事サービスを実施しています。

町社協 ☎ 九四五―三六五一

女性コーナー 連載12

「真の男女平等の推進について」

― 相補い共に生きよう ―

企画課 安里 英子

「平等」の反対側にある言葉は「差別」です。そしてこの差別には、男女差別の他に人種差別、中央の地方に対する差別、先進国の第三諸国に対する差別、身近なところでは、身体にハンディーをもつ者への差別等、さまざまな形で存在しています。

このすべてに共通しているのは、自己、あるいは自己の属する集団外のものとは劣っているという自己中心主義の考え方です。そこには共に助け合って生きていくという相互扶助の精神や、共生という考え方はまったくみられません。平等とは言葉を変えてい

ば、相手の立場を認め合い、相補いしながら共に生きていくという共生の思想とも言えるのではないのでしょうか。ところで、国連の「

女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」では、女子に対する差別をどのように定義づけているのでしょうか。条文をみると「性に基づく区別、排除又は制限」と言うふうに規定しています。そして「いかなる分野においても女子が男

女の平等を基礎として人権及び基本的自由を認識し、享有し又は行使することを害すること」としています。

男女平等の問題でよく「男らしさ」あるいは「女らしさ」のことが議論になりドロ沼化することがありますが、要はお互いの人権を尊重しそれが商品化につながるようなものでない限り、それぞれが自由に個性を表現することは、むしろそれは素晴らしいことではないのでしょうか。

シルバー人材センターの会員はこんな仕事をします

●毛筆・あて名書き●

ペン字あるいは毛筆による封筒や葉書のあて名書き、賞状・証書の毛筆書きなど、高齢者に最適の仕事です。



●一般事務・経理事務●

書類の清書や伝票の整理、書類・図書の整理、集計事務や調査事務など高齢者の実直さ、こまかさが評価されます。



●簡単な大工仕事等●



簡単な大工仕事や修理、修繕など、なかなか引き受け手がないものです。高齢者の丹念な仕事が重宝がられます。

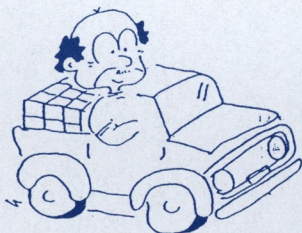
●野 外 の 軽 作 業●



庭の清掃や、公園の管理・清掃、草取り、植木や盆栽の手入れ、芝生の刈込みなど、高齢者の根気、りちぎさが求められています。

●荷造りから配達●

荷造りや出荷作業、得意先への配達・集金など慎重な態度と商品への愛情が望まれます。



●そ の 他●

- ◆外交、得意先訪問、外渉など。
- ◆校正・翻訳・トレース、毛筆・筆耕指導など。
- ◆障子・フスマ張り、洋裁・和裁。
- ◆倉庫・駐車場の整理・管理。
- ◆入場券販売、パンフレット配布。
- ◆留守番や子守、お年寄りの介護や家事の補助など、信用できる人が求められています。

お知らせ
でーびる



案内・募集

平成4年度
刑務受験案内
人事院・法務省

刑 務 官 募 集

— 高校卒業程度 —

▷受付期間◁

8月21日(金)～9月3日(木)

◎郵送された申込書は、9月3日までの消印のあるものに限り受け付けます。

◎受付時間 9時～17時(土曜日及び日曜日を除く。)

▷受験手続◁

◎申込用紙請求先

人事院沖縄事務局

〒900 那覇市樋川1-15-15

TEL (098) 834-8400

シルバー人材センター地域説明会日程

No.	説明会年月日	場 所	対 象 行 政 区
1	4年7月13日(月)	幸 地 公 民 館	幸地・幸地ハイツ
2	7月15日(水)	棚 原 公 民 館	棚原・上原
3	7月17日(金)	徳 佐 田 公 民 館	徳佐田・森川・千原
4	7月20日(月)	坂田ハイツ自治会事務所	坂田
5	7月22日(水)	翁 長 公 民 館	翁長
6	7月24日(金)	小波津集落センター	呉屋・小波津
7	7月27日(月)	津 花 波 公 民 館	津花波・西原団地
8	7月29日(水)	内 間 公 民 館	小橋川・内間・県営内間団地
9	7月31日(金)	嘉 手 苺 公 民 館	掛保久・嘉手苺
10	8月3日(月)	小 那 覇 公 民 館	小那覇
11	8月5日(水)	平 園 公 民 館	平園
12	8月7日(金)	兼 久 公 民 館	兼久
13	8月10日(月)	与 那 城 公 民 館	与那城
14	8月12日(水)	我 謝 公 民 館	我謝
15	8月14日(金)	安 室 公 民 館	安室・桃原・池田・西原ハイツ
16	8月17日(月)	美 咲 公 民 館	美咲
17	8月19日(水)	小波津団地自治会事務所	小波津団地・西原団地

※ 時 間 午後3時～5時

「あなたが主役、すすんで納め 相互でたすける国民年金

恩給欠格者の皆様へ

いわゆる恩給欠格者で、外地等に勤務した経験を有し、加算年を含めた在職年が3年以上で、請求時において日本国籍を有する方には内閣総理大臣名の書状を、さらに70歳以上の方には高齢者の順に併せて銀杯を贈呈しております。

(注)次の方は、この事業の対象になりません。

- 年金たる恩給または旧軍人軍属としての在職に関連する年金たる給付を受ける権利を有する方
- 恩給欠格者のご遺族および戦後、旧ソ連またはモンゴル国の地域に強制抑留されたことのある方
- 戦傷病者戦没者遺族等援護法上の軍属(雇員、傭人、工員等)および準軍属の方

※詳しくは西原町役場 福祉課援護係へ

☎ 945-5011(内13)

＝税務職員(税務大学校学生)募集＝

人事院、国税庁では税務職員(税務大学校学生)を募集しています。

国家公務員採用Ⅲ種試験(税務)に合格し採用された方は、採用と同時に全員が税務大学校普通科に入校し、約一年間、大学水準の教養と税務職員として必要な専門知識を習得するための教育を受けることになります。

※詳しいことは、沖縄国税事務所人事課まで。

(☎ 867-3101 内511)



寄付・香典返し

▷字小波津233番地の21、山田(石川)多津子さんが、無憂華の会発足記念として町人材育会へ10万円。

琉球大学公開講座実施要項

1. 目的

園芸作物の栽培技術は日進月歩であり、数年前の技術でも取り残されるケースが多く常に情報を集約する必要がある。本講座はこのような観点から現場技術の向上を目的に実施する。

2. 内容

園芸作物の繁殖、育苗、無農薬、無耕起、無化学肥料技術について講義する。

3. 担当講師

琉球大学農学部 教授 比嘉照夫

4. 会場

西原共同福祉施設

5. 実施日時

平成4年7月20・21・22・23・24日(5日間)
午後6時00分～午後9時00分

6. 申込み先

西原町役場 産業課(安座間・喜納)

TEL 945-5013 内線(66)

7. 申込期間

平成4年7月2日(木)～平成4年7月15日(水)
午前8時30分～午後5時00分

8. 募集人員

30人

9. 受講対象者

農業関係指導員及び町民

10. 受講経費

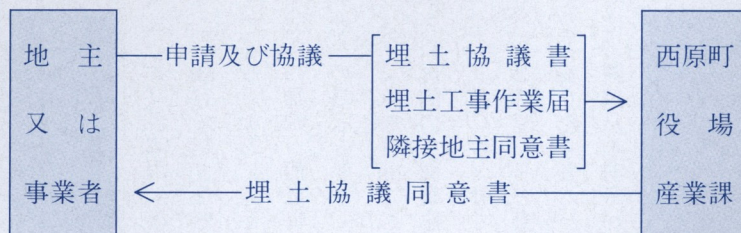
4,630円

『農地等』埋土についての注意

農地等を埋土する場合、道路、排水路等の破損、又は土砂の流出、隣接地の冠水、浸水等の災害、或いは地域住民とのトラブルを未然に防止するため、本町開発行為に関する指導要綱に基づき申請及び協議しなければなりません。

埋土工事するときには、埋土協議終了後に着工するようお願い致します。

尚、埋土協議についての申請手続きは下記のとおりです。



水道料金の支払いは、自主納付か口座振替をご利用下さい(町水道課)

7月(JUL) 行事・祭事予定

- 1日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 3日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里
○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 4日(土) ○映写会 14:00 児童館
○第5回町軟式テニス発展大会(5日まで) 町体協
- 5日(日) ○朝市 9:00 役場前駐車場
- 7日(火) ○第11回町道路排水愛護デー
- 8日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 10日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 11日(土) ○町役場閉庁
○急救法講習会 14:00 児童館
- 12日(日) ○各区対抗/バレーボール大会(町体協)
- 15日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○挑戦大会 15:00 児童館
○離乳食実習 13:30 町中央公民館
- 16日(木) ○一歳半健診 13:30 町中央公民館
- 17日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里
- 18日(土) ○親子手づくり教室 14:00 児童館
○第13回町青少協町民総決起大会 14:00 町中央公民館
- 19日(日) ○各区対抗/バスケットボール大会(町体協)
○朝市 9:00 役場前駐車場
- 22日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 23日(木) ○子供エイサー開級(10回) 14:00 町中央公民館
- 24日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 25日(土) ○町役場閉庁
○ビデオ会 14:00 児童館
- 26日(日) ○各区対抗卓球大会(町体協)
- 28日(火) ○トランポリン講習会 14:00 児童館

※都合により日程変更することもあります。

▽六月一日、台湾の太魯閣(たろこ)峡谷で起きた落石事故で亡くなったお二人は、65才と59才の姉妹。西原町にあって悲しい日となりました。お二人のご冥福を祈ります。▽中央公民館の各種講座が始まっています。マイホーム講座や英会話講座、子どもさんしんなど盛りだくさん。申し込みは、開講月の前月から受け付けています。▽本格的な夏がやって来ました。夏風邪に気をつけてね。

編集後記



字棚原93番地
宮里善徳さん

こんにちは
ひゅうん ⑧

マーマーミミはんが大好き
毎日畑仕事に余念がない宮里善徳さんは84才。朝七時に一輪車を押して近くの畑へ向かい、十時頃に家に帰る。昼食をすませたら、ちよつと一休み。また、午後四時から午後六時頃まで畑仕事をする日課で、主に野菜を作っている。働きもので有名な宮里さんはマーマーミミはんが大好き。「食事はヌーヤティンママーサンド」と話していました。

7月7日は道路排水愛護デー

一日共同作業で環境美化の気運を!

快適で明るく住みよい町づくりを推進するため、町では、7月7日(火)を『道路排水愛護デー』と設定し、町内の道路や排水などを清掃する共同作業を実施いたします。

これは、地域の環境美化に関心を深め、道路排水や河川海岸愛護の心を育て、町民ぐるみで住みよい環境づくりを推進しようとするもので、今年で11回目を迎える。

「道路排水愛護デー」では、

- 1 内間～小那覇線
- 2 小波津川
- 3 海浜等
- 4 幸地川、徳佐田川



を中心に、町内各事業所や各種団体、および役場が一致協力して共同作業を行うことになっています。

※詳しいことについては、

町役場土木課へ問い合わせて下さい。

☎945-4415

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう(町民憲章)